



学校だより

とき・あかし錦城

2020年(令和2年)
7月28日(火)(第56号)
明石市立錦城中学校

今日もちゃんと 今日だな

…… 1学期もあとすこしです ……

学校長 永田 浩史 (ながた ひろし)



今日

工藤直子

ジンチョウゲが匂い
ハコベの白い花が咲いていたりすると
なんだか「よし! よし!」とうなずいて
じつに気合がはいるのである

麦の金いろの穂がゆれ
ア리가荷物をかたいで歩いていたりすると
なんだか「うん! うん!」とうなずいて
じつに張りきつちまうのである

じつにもうなにか:
なんでもよいから始めたくなるのである
そして 太陽をみあげ
(なにはともあれ ともかく)なんて
わけもなく つぶやいて
わけもなく 安心するのである

今日もちゃんと 今日だなと

詩集「あいたくて」より

7月10日(金)、校内LANを活用した全校集会(テレビ会議システム)で紹介する予定だった詩を紹介しておきます。雨の続くこの時期に、夏に向けて元気を出してほしいなという気持ちともうすぐ梅雨明けするだろうなという気持ちで選びました。しかし、梅雨明けどころか、大雨が続き各地で甚大な被害が続きました。その後も雨が続き、種目別大会の初日は大雨洪水警報。2日目も午後から雨が降る中での試合となりました。もうすぐ梅雨明けになるのだろうけれども、なかなかすっきりとした天気になりませんね。

例年であればこの時期、夏休みが始まり2週間目に入るところです。朝早くから蝉の音がうるさいくらいに鳴いている中、夏の宿題に取り組み、部活動は新チームとなり、それぞれ予定を立てて日々過ごしているはずでした。しかし、今年はこれから三者懇談会、そして1学期の終業式となります。今週末には種目別大会の2日目も開催されます。異例尽くしの日々が続きますが、「うん! うん!」とうなずいて、太陽をみあげ「よし、やるぞ!」とわけもなくつぶやいて、今日をなんとか乗り切っていきましょう。

夏

カ・ゲ・なつ

●大きな仮面をかぶっておどっている人の形にかたどる。借りて、季節の「なつ」の意味に用いている。

夏草やベースボールの人遠し

正岡 子規

一八九八(明治三一)年七月二五日

種目別大会(1日目)の結果 ※ホームページに写真を掲載しています

種目	結果
バレーボール	女子 予選リーグ 錦城 2-0 高丘 錦城 2-0 大久保 ※ベスト4進出(8/1朝霧中学校で二見中と対戦予定)
ソフトテニス	男子 個人戦 1~3回戦敗退
剣道	女子 団体リーグ 対望海 0勝3敗2分 対二見 0勝4敗1分 個人戦 1回戦敗退
サッカー	1回戦 錦城 0-1 魚住

◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年開催される市総体が中止となり、中3生への救済措置として代替大会の種目別大会が開催されました。各会場で観覧者の人数制限や入れ替え、用具の消毒など体制を整えての実施となりました。一部種目は競技の特性や日程調整などで中止や延期(女子ソフトテニス)となりました。8月1日、2日には2日目となる競技が開催予定です。その結果については次号でお伝えします。



新型コロナウイルスの感染拡大で、いったんは中止が決まった兵庫県明石市中学校総合体育大会の代替大会が25日、開幕する。3年生に笑顔と活気が戻る一方で、休校中のブランクや仲間の引退といった悩み、迷いも生じた。最後の夏を駆ける中学生を追った。昨年、錦城中創立73年の歴史で初めてとなるサッカー一部が誕生した。(2020.7.25 神戸新聞明石版より)

とき・あかし56 新聞記者さんの思い

▼7月25日(土)種目別大会の初日、神戸新聞明石版に連載されている「かける最後の夏」~コロナ禍の中学総体というコーナーに「このまま終わりたくない」(秘めた決意)というタイトルで、錦城中学校サッカー一部が掲載されました。▼この記事は神戸新聞明石総局の川崎記者が担当。錦城中第76回生入学式の取材以来、臨時休校中の動画配信についての取材も担当された方です。「市内で一番小さな学校ですが、先生方や子どもたちの意欲が感じられます。今回の取材では錦城中を最初に取り上げようと思いました」と7月上旬に連絡がありました。▼例年なら各種目担当の先生がすべての学校の紹介記事を書くのですが、今回は実施そのものができるのかという状況でした。一人の記者さんが見つめた記事は、各校の3年生の複雑な思いが丁寧に取り上げられており、きちんと焦点が当てられているのだと感じました。▼「いい取材ができました。いろんな方に彼らの思いが届けば幸いです」と川崎記者。しっかり届いていると思います。※この記事も本校HPに掲載しています。